

◆ 平成29年度活動報告シート ◆

団体名：秩父市環境市民会議

20A-46

代表者：会長 矢尾直秀

URL :

1. 活動が必要とされた状況

荒川の源流域であり、県民の水源地域となっている秩父地域の水、荒川とその支流に着目し、その大切さを住民に認識してもらうため、「秩父の水・川と私たち」と題して、今回2回目である、「秩父の自然を守る写真展」を開催した。広く住民から写真を募集し、審査、展覧会を実施、講演会も実施、水と川の大切さ、自然を守ることの意義を広めた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 荒川の水・川を学ぶ環境学セミナーの実施

- ①講演会「荒川と周辺の環境の現状」 参加人数 55名
講師：埼玉県生態系保護協会事務局長 堂本泰章氏
- ②講演会「秩父の湧水と調査報告」 参加人数 42名
講師：埼玉県生態系保護協会秩父支部
- ③体験会「荒川の水質・生き物調査体験」 参加人数 27名
講師：秩父の環境を考える会、秩父愛鳥会

(2) 第2回秩父の自然を守る写真展 「秩父の水・川と私たち」

- ①写真の募集 平成29年7月10日（月）～9月8日（金）
- ②表彰 特選1、準特選2、優秀賞10、入選 相当数
- ③作品展 平成29年11月2日（木）～6日（月） 来場者数 327名
場所 秩父市役所百貨店美術サロン

3. 活動の成果

本会の活動テーマを「秩父の水と川」に設定し、1年間に、6回のセミナー、3回のプロジェクト活動を実施した。参加者も延べ314人に達し、多くの住民に学習の機会を与えた。

また昨年の「秩父の巨木」に引き続き、住民参加の「秩父の水、川と私たち」の写真展を開催し、水・川の大切さ、秩父の自然の存在意義を広く認識させることができた。



荒川の水質検査



「秩父の水・川と私たち」写真展

4. 今後に残された課題

- ・今後もテーマを設定し、秩父の自然を守る活動に繋げていきたい
- ・写真展開催の要望も多いので今後も住民参加型の自然を守る写真展の開催を目指す
- ・さらに多くの参加者を募るために、本会の活動の趣旨を広く広報していきたい
- ・趣旨を徹底するため、秩父地域の多くの環境団体との連携を図っていきたい